

令和3年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価

令和4年10月
福岡市総合図書館

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所 属 等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡本 洋幸	公益財団法人九州経済調査協会 総務企画部次長兼BIZCOLI館長
白根 恵子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
豊澤 絵里奈	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
矢島 啓子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

○新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設
2			貸出・返却拠点等の新設
3		利用時間の見直し	休館日、開館時間の見直し
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実
5		快適な空間づくり	快適な空間づくり
6	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実
7			レファレンス(相談)サービスの充実
8			課題解決型支援の充実
9		地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大
10			地域読書活動への支援
11		市関連施設の図書室 の相互協力	市施設の図書室との相互協力
12	子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	モデル児童図書目録の配布
13			子どもの貸出カード作成推進
14			ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化
15			読書活動ボランティア講座の強化
16		学校図書館への支援	学校図書館支援センターの充実
17	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	図書館外施設での映像資料上映事業
18			資料展示事業
19		文書資料部門の充実	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実
20			文学館の利用拡大
21	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法の検討
22			図書館ボランティアとの共働の推進
23			職員の育成及び技術向上
24			施設の有効活用などによる財源確保
25		情報発信の推進	情報発信の推進

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標					
成果指標	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和5年度:90%】	87.2%	88.9%	—	85.4%	89.7%
<総合図書館開館日>	(+1.3)	(+1.7)	271日	(-)	(+4.3)
	290日	290日	271日	246日	221日

※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした

※()は前年度からの増減

※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。

目標数値					
目標数値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①入館者数 【令和5年度:3,500千人】	—	—	2,627,641人	1,640,847人 [986,794 -37.6%]	1,543,636人 [-97,211 -5.9%]
②個人貸出冊数 【令和5年度:4,800千冊】	4,167,046冊 [-107,057 -2.5%]	4,108,973冊 [-58,073 -1.4%]	3,958,372冊 [-150,601 -3.7%]	3,251,539冊 [-706,833 -17.9%]	3,108,085冊 [-143,454 -4.4%]
③貸出利用者数 【令和5年度:1,400千人】	1,211,296人 [-22,501 -1.8%]	1,214,402人 [+3,106 +0.3%]	1,178,884人 [-35,518 -2.9%]	949,860人 [-229,024 -19.4%]	897,574人 [-52,286 -5.5%]
④新規登録者数 【令和5年度: 30千人】	26,207人 [-7,639 -22.6%]	24,712人 [-1,495 -5.7%]	22,528人 [-2,184 -8.8%]	16,558人 [-5,970 -26.5%]	18,648人 [2,090 1.2%]

※入館者数については、平成30年度に装置の不具合が判明したため過去の数値も非表示。

※[]は前年度からの増減。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度は総合図書館のみ令和2年2月27日から同年3月20日まで臨時休館を行い、また、令和2年度は総合図書館及び分館が、令和2年4月4日から同年5月25日まで臨時休館を行った。

※南図書館は、南市民センターの大規模改修工事に伴い、令和3年1月5日から令和4年8月上旬(予定)まで長期休館を行っている。

内部評価	事業別評価	
<評価> 成果指標である「図書館サービスの満足度」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開館日が減少し、目標には達しなかったものの、令和2年度と比較すると持ち直し、目標達成まであと一步のところまできている。 目標数値も、ほとんど各項目で前年度から減少するも、その下げ幅は小さくなり、新規登録者数はプラスに転じるなど回復の兆しもある。 事業別評価については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつも、図書館としてサービス等を提供できる範囲で提供したこともあり、前年度より評価が高くなった。 <対応> 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していく。	A評価	14事業
	B評価	11事業
	C評価	—
	D評価	—

外部評価

・コロナ禍の下、制約のある中で努力されていると思います。分館も少しずつ増えている点も喜ばしい。しかし、福岡市全体を見渡した図書館行政のグランドデザインはどのようになっているのかが、明確でないのが残念です。

・限られた予算の中で工夫をこらし、取りくんでいる姿勢は評価できる。だが、毎年、利用者、貸出冊数は全体的に減る一方であり、さらなる施設のリニューアルなど大きなテコ入れが必要と考える。そのための財源確保に努めてほしい。また、未来へ希望をつなぐためには、子どもたちへの働きかけが重要な鍵であり、子どもが本に親しむ読書を楽しむための環境の整備、児童専門の司書の育成が不可欠である。そのための予算の確保にも努めてほしい。

・コロナ禍でも多様な取り組みがなされており、内部評価に違和感はなかった。今年度はコロナ禍を前提とし、ウェブ上でのイベント開催や情報発信を進めてほしい。

・図書館は市民にとって、どの世代でも、どの立場にあっても公平に存在し訪れることができる公共施設だと思う。
子どもにとっては、言葉のスタートライン、学生にとっては学習資料や人生を豊かにする図書の包蔵地、働く世代にとっては文化、高齢の方々にとっては興味や好奇心の引き出しとして、様々な利用のされ方をしているので、もっと中身を外にアピールすると良いと思う。特にレファレンス機能は、今やデジタルで正しい回答が即、得られる時代に人が人の為に回答を提供できる場として、素晴らしい活動だと思う。もっとさまざまな機会において周知した方がよいと思う。以前、千歳の図書館に行ったとき、レーザーディスクがあり、借りるとその場で視聴覚ルームで見ることができた。新しい図書館の楽しみ方を学んだ。しみんはいろいろな声を持っていて、全てに対応するのは不可能と思うが「こども」「デジタル」「中身のアピール」を更に進めてほしいと思う。

・環境整備については、図書館周辺の除草や館内の貼紙の多さが指摘されており、確かに注視すると目立っていると思われる。シネラの借出方法については、わかりやすい位置に提示する等の工夫が必要である(シネラが図書館内では横側にあり、正面玄関から入館し図書を借りる目的だけの方は、素通りする可能性があるため)。また、分館においては、あらゆるジャンルの本を置いてあるので、スペースの問題もあるが、こども用の図書が少なく感じるので、子どもが集まる場所(科学館など)に、こども図書専用の図書館があってもいいのかと思う。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	10	A評価	14	A評価	12	A評価	8	A評価	12
B評価	15	B評価	11	B評価	13	B評価	17	B評価	13
C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	0	C評価	0
D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【早良南図書館】 開館準備			◇開館	
令和3年度					
計画	新たな拠点となる早良南図書館開館の円滑な運営に向けて、関連する事業者、関係部署等と調整を図る。また、開館後は指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。				
取組状況	早良南図書館の開館に向け約6万冊の図書資料収集を行うとともに、図書館システムの構築と設置を行い、令和3年11月6日より、指定管理者による運営管理を開始した。開館時には一時的な混雑も見られたが、指定管理者による人員配置と利用者対応により、特に混乱なく開館後の運営が行われた。				
令和4年度					
計画	円滑な分館運営を行うため、指定管理者と協議を行いながら調整を図っていく。また、指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。				
内部評価 (令和3年度)					
新たな分館となった早良南図書館の開館(令和3年11月6日)においては、計画どおりに指定管理者による管理運営を開始した。また、図書館づくりにおいては、関係部署と連携を図りながら進め、開館前日までに図書資料収集、図書館システムの設置等、図書館運営に必要な準備を整えた。全体的に計画どおりに進んだためA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・早良南図書館、住民に好評のようで喜ばしい。分館も増えてきたが、人口比で考えるとまだ足りない。今後も分館とまでいなくても市民の身近な所に読書施設を計画的に増設するようお願いしたい。 ・令和3年11月に開館した早良南図書館の来館者数や満足度が高いことは高評価である。8月27日にリニューアル開館の南図書館にも期待している。更なる取り組みに期待してA評価とした。 ・計画どおりに進んでいるためA評価。 ・南図書館(R4.8.27~)のRE-OPENにむけての情報収集、開示に努力されたと思われる。 ・事業計画通り開館できたのでA評価。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

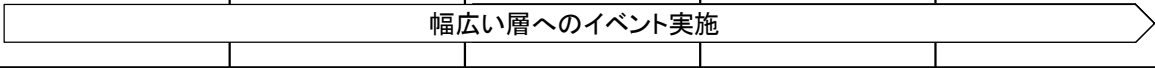
令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討、協議				
			◇設置		
令和3年度					
計画	市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな拠点となる早良南図書館を開館し、指定管理者による管理運営を実施した。 ・既に設置済みの返却拠点については、コロナ禍による協力事業者の事業統廃合等の影響で返却ポスト・人的な返却対応見直しが行われる中で、拠点数の維持に努めた。 				
令和4年度					
計画	既設の貸出・返却拠点等の維持に努めるとともに、市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
内部評価 (令和3年度)					
<p>令和3年度は、新たな拠点となる早良南図書館の開館を中心とした取り組みを実施。その他での新たな拠点の設置については、検討中であるが、具体的な設置は進んでいないことからB評価とする。</p>					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・返却できる所(返却ポスト設置)を増やすことも必要ではないか。例えば公民館なども。 ・返却ポストを公民館に設置するなどの取り組み工夫が求められる。貸出ポストは特に設置が進んでいない。 ・計画どおりに進んでいるが、南図書館以外の拠点新設が不十分。 ・更なる返却拠点の拡充に期待する。 ・貸出・返却拠点の設置場所の周知にも力を入れていただきたいためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【休館日】 検討	段階的に実施			
	【開館時間】 検討	段階的に実施			
令和3年度					
計画	これまでの検討結果及び市政アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
取組状況	図書館が実施した利用者アンケート調査(令和4年5月)の結果では、「開館時間及び休館日」についての評価は、満足度89.7%であった。 令和3年11月に開館した早良南図書館は東図書館と同じ休館日と開館時間で運営している。				
令和4年度					
計画	令和3年度実施できなかった市政アンケート及び利用者アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
内部評価 (令和3年度)					
利用者アンケートで図書館利用者のニーズの把握はできたが、市政アンケート(広聴課所管)で図書館項目の質問はなく、市民全体のニーズを十分に把握することができなかった。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・駅と直結している分館などでは、通学・通勤者の利便性を考慮して開館時間を設定することが望ましい。 ・東図書館、早良南図書館の利用時間の見直しにより来館者数、貸出冊数、満足度など順調に伸びている。このことを踏まえ、他の分館についても見直しの検討に着手されたい。そのための財源(予算)の確保を求める。 ・利用者アンケートが予定通り実施できたためB評価。 ・市民ニーズの把握が難しかったためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実	
内容	図書館イベントの充実			
事業計画	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。</p>			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				
令和3年度				
計画	<p>新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながら、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを引き続き企画・実施する。</p>			
取組状況	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により臨時休館となるなど、企画したイベントを中止せざるを得ないこともあった。しかしながら、「図書館マンス」の「よりそう図書館」をはじめ、「こどもの読書週間」でのイベント、おはなし会の開催、SDGsの関連本展示や起業・経営相談会など課題解決型支援も実施に努めた。また、高校生向けの国連講演会は、会場参加にオンライン参加も加えて開催し、地球の未来について高校生が活発に議論を行い、高等学校ビブリオバトル福岡県大会では、17校が参加して読みたくなる本の紹介が熱心に行われた。さらに、ゲームで蒙古襲来の歴史を紹介する講演会も実施した。中村哲氏の2周年忌記念事業には、多くの参加者を得た。11月に開館した早良南図書館では角田光代氏による講演会なども開催した。2月には「図書館でねこ歩き」の統一テーマで猫に関するイベントや展示も行うなど、コロナ影響下ででき得る限りイベント実施に努め、令和2年度よりもイベント開催が増加した(令和2年度102回、1,726人)。また、こども図書館での調べ学習に役立ててもらうため、図書館の利用の仕方をおしえる動画配信をYouTubeで行うなど、代替策の工夫に努めた。</p> <p>読書行事等イベント 総合図書館・分館 238回 4,151人 展示(総合図書館)135回</p>			
令和4年度				
計画	<p>新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながらも、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に昨年実施できなかった事業をはじめとする読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを企画・実施する。絵本月間を12月に創設し、読書フォーラムを中心とした読書普及イベント等を実施する。</p>			
内部評価 (令和3年度)				
<p>新型コロナウイルス感染拡大の厳しい状況が続く、イベントを止めたり、縮小したりするものもあったが、状況を踏まえながら、オンラインや動画配信も活用してできるだけ実施に努め、読書活動の促進や情報発信に取り組むことができたためA評価とする。</p>				A
外部評価 (令和3年度)				
<p>・感染防止に努めながら、様々なイベントに取り組まれている点、評価します。</p> <p>・コロナ禍で難しい状況の中、様々な取組をされていることは評価できる。一方、特に総合図書館で子どもたちへのおはなし会がほとんど行われなかったことは残念である。</p> <p>・多様なニーズに応じてイベントが実施されているため。</p> <p>・市民に関心を抱かせる内容のイベントがあるのが良い。福岡出身の作家のイベント(プレイディみかこさんなど)がオンラインであると楽しそう。現在、ニューヨーク公立図書館という映画が話題を呼んでおり、他のエリアの図書館を紹介しながら比較対照するイベントがあるとおもしろそう。(建築や中での市民のくつろぎ方、人気の本など)</p> <p>・コロナ感染状況を踏まえながら可能なことに取り組まれた。</p>				<p>A : 3</p> <p>B : 2</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	快適な空間づくり				
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和3年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。また、新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直しの指示等を踏まえながら、館内レイアウトや更新工事時期の検討を行う。				
取組状況	令和3年度設備更新工事は、スプリンクラー消火設備、中央監視設備、監視カメラを行った。施設設備における大規模更新工事の実施内容及び館内レイアウトの検討のため、基本計画策定業務委託を実施した。				
令和4年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直し指示等を踏まえ、更新工事の工程や工事期間中の館内体制等、工事実施時における課題を検討する。				
内部評価 (令和3年度)					
<p>長期保全計画に基づき計画的に設備更新工事を実施した。 ー休館を伴う設備更新の実施に向け基本計画策定業務委託を実施し、設備更新工事の実施内容及びレイアウト変更内容について整理できた。 よって、A評価とする。</p>					A
外部評価 (令和3年度)					
<p>・具体的なレイアウトを示してほしい。 ・計画どおりに進んでいるためA評価。 ・雑草が目立ち、清潔感がいまいちだし、エントランスの貼紙がちぐはぐ。また、統一感に欠けている。動線のつくり方に工夫ができないか。 ・「防災」「安全」という観点での対策推進については評価できる。 ・快適な空間づくりのためのレイアウト変更等行われているためA評価。</p>					A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和3年度					
計画	総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていくとともに、市民ニーズにも対応していく。				
取組状況	公共図書館としての役割を発揮するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行うとともに、市民ニーズに応えるよう、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施した。 令和3年3月に開館した電子図書館については、本館・分館読書相談員全員で選書を行い、利用者ニーズの高いコンテンツの収集に努めた。(コンテンツ数: 令和2年度末 7,549点 ⇒ 令和3年度末 9,643点)				
令和4年度					
計画	市民ニーズに対応しながら、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていく。 また、電子図書館のコンテンツ充実に努める。				

内部評価 (令和3年度)

限られた予算の中で、総合図書館及び分館の資料収集に努め、市民ニーズのある予約待ち人数の多い図書の複本購入等も実施した。また、電子書籍については、コンテンツ数はまだ十分ではないが、利用者ニーズの高いコンテンツを提供できたことからA評価とする。	A
--	---

外部評価 (令和3年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・児童書について。モデル児童図書等についてが、傷んでしまった場合に買い替えることが望ましい。 ・予算の確保に努めてほしい。一般書は多少増えているものの調査に欠かせない資料が十分でないのではないかと危惧している。 ・利用者ニーズに沿ったコンテンツの収集が進んでいるため。 ・電子書籍の拡充努力は評価できる。 ・傷んだ本の修繕や買い替えをしているとのことだが、電子書籍のコンテンツがまだ不十分と感じる。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	レファレンスサービスの実施				
	令和3年度				
計画	レファレンスにおける電子メールの利用促進をより一層図るとともに、さらにHPの活用を進める。				
取組状況	<p>窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施し、令和3年度の主題別部門及び文書資料部門のレファレンス件数は合計で31,156件(2年度:25,140件)となった。</p> <p>利用者が来館しなくてもサービスが利用できるよう、元年度に国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して、当館のHP上でレファレンス事例を参照できるようにしているが、それに加え、3年度は、HPの「テーマ資料」検索機能をパスファインダーとして活用し、利用者の関心が高い「SDGs」や「がん情報」などのテーマについて、お勧めの図書を紹介した。「テーマ資料」検索では、本の予約まで可能である。</p>				
令和4年度					
計画	レファレンスについて、窓口での対面など従来の方法に加え、HPや電子メールなどデジタル化を進める。				

内部評価(令和3年度)

新型コロナウイルス感染拡大による2年度のレファレンス件数の低下から回復が進んだこと、また、電子メールの利用とともに、ホームページを活用した調べものについての機能充実など、レファレンスにおけるデジタル化の活用を進めたため、A評価とする。	A
---	---

外部評価(令和3年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの存在自体を広く市民に伝達する方策を考える必要がある。 ・コロナ禍において、電話とメールでHPからのレファレンスの重要度は増している。さらに使いやすくレファレンスしてみようと気軽に思えるようなPRが必要と考える。 ・レファレンス件数は順調に増加しているためA評価。 ・利用しやすいようデジタル化を進められたためA評価。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実			
内容	課題解決型支援の充実					
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供					
令和3年度						
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に配慮しながら、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、関係部局や関係機関等と協力して、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。					
取組状況	<p>ビジネス支援として、中小企業診断士による起業・経営相談会を開催したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止が多く相談件数も少なかった。</p> <p>(年間開催数) 総合図書館 17回 相談 4件 (毎月第2・第4日曜日) 東図書館 6回 相談 1件 (毎月第1・第3日曜日)</p> <p>医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンターや済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き講演会の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。</p> <p>令和3年3月に開館した電子図書館で、健康医療に関するコンテンツを提供したり、HPの「テーマ資料」検索を活用し、がん情報に関する本を紹介した。</p> <p>行政支援として、「SDGs」や「選挙と政治」、「世界水泳」「児童虐待防止キャンペーン」などをテーマとして、関係部局と連携して展示を行い、関係の本の紹介やパンフレットの配布などにより、情報提供を行った。特に重要な課題である「SDGs」については、HPの「テーマ資料」検索で、国連が目指す17の開発目標全てを網羅し、1,185冊を紹介した。</p>					
	令和4年度					
	計画	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を行いながら、関係部局や関係機関等と協力して、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
内部評価 (令和3年度)						
<p>行事については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、がん講演会の中止、起業・経営相談会の一部中止など、十分に実施できなかった。</p> <p>一方、行政支援として、SDGs等の関連書籍の展示やHPでの紹介とともに、電子図書館やHPのテーマ資料検索などデジタル化により健康医療関係の本を紹介するなど、できる限り取り組みを進めたので、B評価とする。</p>					B	
外部評価 (令和3年度)						
<ul style="list-style-type: none"> ・リモート開催の道も探してほしい。 ・コロナ禍で、できる限りの取り組みが実施されているため。 ・市民の交流の場への発展に期待。 ・図書館は他の公共施設と異なり全ての世代にあらゆる情報を提供できる場である。 ・行政支援としての取り組みが行われたためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0	

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	団体貸出先の拡大				
令和3年度					
計画	令和5年度目標登録団体数の420団体に向けて取り組みを進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和3年度末時点で441団体となり、令和2年度に比較して22団体増加した。 また、登録団体に対し、新着本の紹介等を行い、貸出図書のさらなる利用の促進に努めた。				
令和4年度					
計画	登録団体数は、令和5年度目標の420団体を達成したが、公民館の登録は公民館全体の約半数であり、地域での貸出機会の拡大を目指し、さらに登録数の増加に向けた取り組みを進める。				

内部評価 (令和3年度)	
令和5年度目標の420団体登録を達成できたためA評価とする。	A

外部評価 (令和3年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・団体登録数が着実に増えていることは評価できる。それに見合った予算の確保を求める。 ・目標値を達成したため。 ・目標達成のためA評価。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和3年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、関係各課と連携して文庫活動の活性化や文庫間の交流促進を図る事業等を行う。				
取組状況	<p>地域文庫の交流会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により中止となったが、地域読書活動を勧めるため、情報誌「青い鳥だより臨時号」を刊行し、全文庫に配付した。</p> <p>また、公民館の運営を支援する部署と連携し、団体貸出における公民館の登録数を令和2年度と比較し9団体増やし71団体とした。</p> <p>さらに、公民館では親子を対象にスタンバード文庫を活用した読み聞かせ講座を開催した(2年度:20館、280人 ⇒ 3年度:25館、346人)。</p>				
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、公民館の運営を支援する部署などの関係各課と連携して、文庫活動の活性化を図るとともに、文庫間の交流については、コロナ影響下においても工夫に努め促進する。				
内部評価 (令和3年度)					
地域文庫交流会は中止したが、地域読書活動への支援として情報誌の臨時配付やスタンバード読み聞かせ講座の実施とともに、団体貸出を行う公民館の拡大が図れたためA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模のボランティアのための講座の必要性が感じられる。 ・公民館でのスタンバード文庫読み聞かせ講座は評価できる。 ・地域文庫交流会を分散開催するなど他の方法も検討する時期に来ていると考える。 ・ほぼ計画どおりに取り組みが進んでいるため。 ・さらにボランティアの方が活躍する場が増えると良いと思う。 ・団体貸出の拡大ができたためA評価。 					A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相互協力の実施				
令和3年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続していく。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員及び行政職員の調べもの支援のため、議会図書室を通じて図書資料の貸出を実施した。 ・図書館利用者の利便性を図るため、ふくふくプラザで図書資料の返却受付を実施(福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置)し、福岡市科学館のサイエンスナビ(図書室)においては、図書資料の貸出・返却の受付を実施した。 				
令和4年度					
計画	議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を継続し、議員や職員、市民への周知を図る。				

内部評価 (令和3年度)

議会図書室、科学館及びふくふくプラザ各図書室との相互協力を行い、市関連施設との連携を継続実施できたためB評価とする。	B
--	---

外部評価 (令和3年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・もう一歩ふみ込んだ協力、例えば、科学館の展示、催しにあわせた連動する企画協力がもっとあればと思う。 ・相互協力が進んでいるため。 ・市関連施設に足を運んだ際、利用できるように周知も行ってもらいたい。 	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及			
内容	モデル児童図書リストの配布					
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	作成・配布					
令和3年度						
計画	モデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、掲載図書を展示し貸出を促進する。					
取組状況	<p>モデル児童図書リスト(前年の受入図書の中から選定した本)を配付(約3,800部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。</p> <p>また、従来のモデル児童図書目録掲載図書(S62年~H27年に作成)及びリスト掲載図書の展示、貸出を行うとともに、新たに総合図書館(本館・分館)の司書おすすめの絵本を紹介した冊子(「司書が選ぶ100冊の絵本」)を作成した。</p> <p>[参考]令和2年度の調査では、モデル児童図書リストに掲載した図書は、年間1冊当たりの貸出回数の平均は、幼児用91回、小学1・2年用90回、小学3・4年用38回、小学5・6年用41回と貸出が多かった。</p>					
令和4年度						
計画	令和4年度版のモデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、「司書が選ぶ100冊の絵本」に掲載されている図書と併せて、こども図書館で展示を行い、貸出を促進する。					

内部評価 (令和3年度)	
モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたためA評価とする。	A

外部評価 (令和3年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・リストに掲載されている図書を各分館で揃えるなど、子どもの手に渡りやすくする工夫がなされることが望ましい。 ・モデル図書リストの選定、配付は評価できる。 ・各分館にも副本もそろえて配置してほしい。 ・計画どおりに進んでいるためA評価。 ・著作権や著作権の問題もあるので難しいと思うが、電子図書の中からもモデル児童図書の選出があると、なお良いと思う。 ・なかなかモデル児童図書リストの本を借りれない。電子書籍も対応していないことからB評価。 	<p>A : 4</p> <p>B : 1</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	<div style="text-align: center;"> 広報・イベント・資料収集の充実 ➤ </div>			
令和3年度				
計画	新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、電子図書館も活用してヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施する。			
取組状況	<p>ヤングアダルト向けの図書の収集やお勧め本リストの配付など従来の方法に加え、令和3年3月に開館した電子図書館を活用し、ヤングアダルト向けの特集で、コンテンツを提供した。また、HPの「テーマ資料」検索において、関連書籍を紹介した。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染拡大の中、感染対策を行って、会場参加とオンライン参加を合わせて高校生向け国連講演会を開催し、地球の未来について高校生が活発に議論を行った。また、高等学校ビブリオバトル福岡県大会には17校が参加して、高校生が知的書評合戦を熱く繰り広げた。さらに、ゲームで蒙古襲来の歴史を紹介する講演会も実施した。</p>			
令和4年度				
計画	電子図書館を活用しヤングアダルト向けに図書の紹介を行うとともに、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施し、図書館の利用促進につなげる。			

内部評価 (令和3年度)

新型コロナウイルス感染拡大の中で、電子図書館によるヤングアダルト向けのコンテンツの提供や高校生向け国連講演会、高等学校ビブリオバトル福岡県大会の開催など、様々な方法で読書活動の促進や情報提供に取り組んだため、A評価とする。

A

外部評価 (令和3年度)

・福岡県内在住のヤングアダルト向きの作品の作家さんと高校生の交流会なども考えてみたらどうか。
 ・コロナ禍においても、参加しやすいように様々な取りくみをされたことは評価できる。
 ・一部の読書好きの中高生へのアピールにとどまるのではと思われる。もっと中高生に向けた取りくみも考えてほしい。
 ・多様な取りくみが実施されているため。
 ・図書館へ本の貸出・返却に行った際、ヤングアダルト層の方を見かけることが少ない。

A : 3

B : 2

C : 0

D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	読書活動ボランティア講座の強化				
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				
令和3年度					
計画	令和3年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により計画を変更し、9月～10月に絵本の読み聞かせコースのみを実施する。 講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止によりいずれのコースも開催中止となったが、講座の講師に特別寄稿いただき、情報誌「青い鳥だより臨時号」を作成し図書館ホームページにより一般公開した。 地域文庫MAPについては、各文庫の現在の活動状況の把握に時間を要し、令和4年度に更新して配布することとした。				
令和4年度					
計画	令和4年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施する。 講座受講修了者には、地域文庫MAPを配布し、地域活動への参加につなげる。				

内部評価 (令和3年度)	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により講座は実施できなかった。 なお、講座の講師に特別寄稿いただき作成した情報誌「青い鳥だより臨時号」を市内全ての公民館及び団体貸出の登録団体に送付するとともに、図書館ホームページに掲載し、ボランティアの知識の向上と参加意識の醸成に努めたため、B評価とする。</p>	B

外部評価 (令和3年度)	
<p>・読書活動ボランティア講座は実習やおさらい会もあり充実した内容になっている。 ・コロナ感染拡大により中止せざるを得ないこともあるが、計画を毎年されることを望む。期待を込めてA評価とした。 ・コロナ禍で、できる限りの取り組みが実施されているため。 ・読み聞かせボランティアの方の活躍状況がわかるように情報開示をしてみてもどうか。人が活躍しているのを他の人が見るのは良い刺激になると思う。 ・コロナ感染拡大防止のため講座はできなかったが、その中でも情報誌の送付などの取り組みを行った。</p>	<p>A : 1 B : 4 C : 0 D : 0</p>

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和3年度					
計画	学校の新型コロナウイルス感染防止策の状況も踏まえ、より学校現場の意向、要望に沿った支援に努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、図書館での実施は困難であるため、昨年度と同様に「福岡TSUNAGARUCloud」を活用した講座を各小学校で実施する。 読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を行う。				
取組状況	令和3年度は93回の訪問を実施した。小学生用の学習支援用図書貸出については、70校から184回の利用があり、6,763冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、1校から1回の利用があり、5冊の貸出を行った。 市内小学校5・6年生を対象に受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」については、動画等の資料により各小学校へ配信される「福岡TSUNAGARU Cloud」を進め、6月から12月の期間に37校で実施があり、受講者509名全員を認定した。 特別支援学校については、各校と支援方法や内容の協議を重ね、おはなし会やブックトークの実演、書架設置や学校の特徴や状況に合わせた選書や配架の工夫など、具体的な支援を行った。また、特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し配付した。 マルチメディアDAISYは、点字絵本やLLブック等も含めタッチルックセットとして整備し小学校4校に貸出を行った。				
令和4年度					
計画	学校現場の意向、要望に沿った支援をすすめると共に、学校図書館支援センター事業の認知、周知に努める。また、新設校の計画段階からの助言や、読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を進めるなど事業の充実を図る。				

内部評価 (令和3年度)	
中学校向け支援については更なる周知が必要。小学校向け支援については貸出登録校数の増加など安定的に貸出を行い、相談対応や訪問など年度を通して実施した。特別支援学校向け支援については各校の状況に応じた支援に努めた。中学生向けには課題はあるが、全般的に事業の認知と活用が進むとともに新設校や建替校などの学校図書館整備への助言も行っており、A評価とする。	A

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校向けの支援については、周知が進み利用が増え、学校訪問数も着実に増えており評価できる。 ・特別支援学校への工夫をこらした取り組みもそのまま継続してほしい。 ・中学校向けの取り組み、周知強化が求められる。 ・多様な取り組みが実施されているため。 ・子どもが借りたくても、いつも借りられて本がないと言っている。 	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	令和3年度				
計画	希望申し込みがあった11館の公民館と具体的な日時や上映作品等の協議を行い、新型コロナウイルス感染症対策を検討しながら、順次上映会を実施していく。				
取組状況	総合図書館で収蔵するアジア映画等を広く活用するため、館外上映や貸与に必要な著作権取得を交渉、ブルーレイディスクを製作し、R3年度末には7作品のアジア映画が館外で上映できるようになった。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による公民館休館の影響もあったが、日程を延期して10公民館において上映会を開催し、延べ186人の市民の参加があった。				
令和4年度					
計画	11公民館において上映会を予定(4月1日現在)しているが、他の公民館についても利用を打診するなど、上映会の開催数を増やしていく。 過去のアジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品を中心に、2作品程度選定して、著作権処理、ブルーレイディスク製作を行い、上映可能作品を増やしていく。				
内部評価 (令和3年度)					
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による公民館の休館があったが、日程を延期して、上映会予定の11館のうち10館は年度内に開催することができた(1館は日程の都合がつかず4年度に実施予定)。 観覧者アンケートでは、映画に共感したといった記述のほか、近くの公民館で鑑賞できるメリットや当該国の映画を初めて見たといった記述もあり、総合図書館での上映に比べ幅広い層に見てもらえていることがうかがえる。 以上のことからA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
・身近な公民館で映像資料の上映が行なわれ件数が増えていることは評価できる。 ・計画どおりに進んでいるため。 ・映像資料の貸し出しをもっとわかりやすくしてほしい。 ・自主上映の場として、もっとシネラを提供してほしい。 ・アジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞作品等は内容が難しいものもあるかと思うので、親子で楽しめる作品も増やしてほしい。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討		展示エリアの整備		
令和3年度					
計画	令和3年6月の「ベトナム映画の現在」合わせて大規模なポスター展示を行う計画。新型コロナウイルス感染症の感染状況を考えながら展示プランを検討していく。新しい展示エリアの検討については現在検討されている大規模改修に併せて行えるようにする。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の拡大による休館のため、令和3年6月に予定していたポスター展示はできなかったが、令和4年1月の「香港映画特集」に合わせて香港映画に関するポスター、チラシ、書籍などの展示と香港で活躍した福岡出身の映画カメラマン西本正の紹介などの企画展示を、ショーケースを使って実施した。新しい展示エリアの検討については、ビデオライブラリーのスペースを使った展示計画について、館内関係者で協議を行った。				
令和4年度					
計画	映像資料展示については、定例の上映映画ポスター展示に加え、映像ホール・シネラ内も使ったポスター展示、ビデオライブラリー内でのスチール写真展示、9.5mmパテベビー誕生100年を記念した映写機器の展示を行う。 展示空間の新設については、引き続き検討を進める。				
内部評価 (令和3年度)					
映像ホール・シネラでの上映に合わせた、総合図書館収蔵のポスター、スチール写真、冊子等の展示により、映像資料の活用を行うことができた。展示空間の新設については、改修計画案を具体的に館内関係者で検討協議を進めた。以上のことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、スチール写真などの展示空間の新設や改修の計画を具体化してほしい。 ・ほぼ計画どおりに進んでいるため。 ・今後に期待する。 ・可能な限りの取り組みを行われたためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実				
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
	検討	システムの拡張・情報提供			
令和3年度					
計画	引き続き、デジタルデータ掲載によるホームページのコンテンツ充実を図る。 歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 引き続き歴史的公文書管理システム等について関係部局と協議検討を行う。				
取組状況	ホームページの「コレクション紹介」に2点の古文書資料を掲載した。 古文書資料に関する情報発信を目的とした「古文書だより」を創刊し、配布したほか、ホームページにも掲載した。 これまで、紙製本で毎年発行してきた古文書資料目録に代えて「古文書資料収蔵品データベース」を構築し、令和3年度に整理・保存した資料のほか、過去に発行した目録に掲載したデータの一部公開を開始した。 東京オリンピック開催に合わせ「スポーツシティ福岡展」を開催し歴史的公文書等の展示を行い、展示概要のしおりをホームページで公開した(入場者総計712人)。 文書主管課である総務企画局総務課と協議を実施し、移管の促進等について意見交換を行い認識の共有を図った。				
令和4年度					
計画	広報紙「古文書だより」第2号の刊行とホームページへの掲載。 ホームページ「コレクション紹介」に古文書資料収蔵品を追加掲載。 古文書資料収蔵品データベースに、新たに整理・保存が終了した資料の目録データを掲載する。また、過去に発行した紙製本の目録に掲載したデータのうち、データベース未搭載のものを順次公開する。 昭和56年の開業から40年が経過し、また来年3月には七隈線天神南-博多間の延伸事業が完成する機会を捉え、「福岡市地下鉄の歩み」をテーマに歴史的公文書等の展示を実施する。(実施済)				
内部評価 (令和3年度)					
古文書資料収蔵品データベースの構築と稼働開始と、新発刊の古文書広報紙及びコレクション等のWEB掲載により、古文書資料のデジタル化の方向性に一つの道筋をつけた。公文書については、五輪の国内開催を機にこれまでの福岡市におけるスポーツ振興計画、各種大会誘致等に関する歴史的公文書等の展示により、当館の公文書機能についてアピールした。一方で、資料のデジタルデータ化とその提供のあり方については、今後ともなお調査・検討が必要である。 以上のことから、B評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> デジタルデータ化のための予算の増額が求められる。 ほぼ計画どおりに進んでいるため。「古文書だより」は素晴らしい。 可能な限りの取り組みを行われたためB評価。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文学館の利用拡大				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実				
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実				
	企画展の開催、広報強化				
	企画展開催・報道機関等による広報強化				
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築				
	構築	情報提供			
令和3年度					
計画	文学館事業として以下の事業を実施する。 図録刊行後に、そのコンテンツをもとに令和3年度中を目途に写真展・パネル展の実施を検討 常設展示「冴えの人—歌人・長塚節(ながつか・たかし)」を会期中展示替えを実施して開設 ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。				
取組状況	文学館事業として以下の事業を実施した。 企画展図録「ミステリーの女王 夏樹静子と福岡」の制作・刊行 ギャラリー常設展「冴えの人—歌人・長塚節(ながつか・たかし)」、展示解説リーフレットの作成、配布 ももちはま草紙(定例文学講座) 3回、常設展示関連文学講座 2回 文学講座(アジア文化賞共催) 延べ参加者数243人				
令和4年度					
計画	文学館事業として以下の事業を実施する。 企画展図録「ミステリーの女王 夏樹静子と福岡」のコンテンツをもとに写真展・パネル展の実施を検討 新テーマによる企画展示を福岡市文学振興事業実行委員会に諮り、実現を目指す。 常設展示「映画化された小説」を会期中展示替えを実施して開設 ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。				
内部評価 (令和3年度)					
図録「ミステリーの女王 夏樹静子と福岡」の制作・刊行し、当館及び一般書店ルートを通じて販売を開始した。一方で、企画展については、令和3年度での実施に至らなかった。常設展については、展示、開設リーフレット作成配布、関連講座とも計画どおり実施した。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、会場の定員を制限したため、文学講座等参加者は抑制しているが、応募者数はコロナ禍においても堅調である。図録等販売数は昨年度より減少した。(R2:文学講座等199人、図録等販売87冊→R3:243人、47冊) 以上のことからB評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある企画展示への取りくみは継続してほしい。 ・感染拡大になっても楽しめる(開催できる)ような取りくみも今後計画してほしい。 ・ほぼ計画どおりに進んでいるため。 ・中が暗い。内容がとても面白いのにもったいない。 ・文学に対する一般市民の認知を今後も上げてほしい。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館、東図書館及び早良南図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合(施設管理のみ)、東(運営)				
	早良南(運営)				
令和3年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
取組状況	総合図書館、東図書館の指定管理者制度は第2期に入り、早良南図書館については令和3年11月から導入した。 いずれも定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努めた。				
令和4年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
内部評価 (令和3年度)					
各指定管理者の事業報告やモニタリング等を元に検証したところ、総合図書館、東図書館は指定管理者第2期に入り、安定した運営ができた。 また早良南図書館は指定管理者の導入が初年度であったが、適正に運営できた。 計画どおり進められたことからA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者導入の評価は、市町村によって大きく異なっている。今後も定期的に調査や見直しを行うことを望む。 ・慎重に進めてほしい。 ・計画どおりに進んでいるため。 ・てきせいに運営できたためA評価。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動内容の追加・実施				
令和3年度					
計画	継続の意思のあるボランティアを確認後、不足数を新規に公募する。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動時間を確保できなかった中、ボランティア登録者数が125名となり、活動実績は1,564時間取り組んだ。 活動内容は「本の修理」が最多で、1,298時間(83%)を占める。				
令和4年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の影響で、新規ボランティアの受け入れは困難。 既に登録しているボランティアを継続して受入れ、図書館ボランティアとの共働を進める。 (令和4年4月1日作成登録者数63名)				
内部評価 (令和3年度)					
コロナ禍で開館日数の減や三密回避という状況下でも、1,500時間以上の長時間の活動に取り組んでいただいた。 図書館との共働が認められることからA評価とする。					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と共働できる場合は、本の修理などの他にもたくさんあると思う。他館の実践例を調べたり柔軟に考えて取り入れてほしい。 ・計画どおりに進んでいるため。 ・十分な活動時間で本の修理等をしていただいた、 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和3年度					
計画	今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が拭えない現況であるため、職員が一同に集まったの全体研修はできるだけ制限し、必要最小人数での福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、会場集合形式のものは3年度も縮減され、インターネットを介してのオンラインによるものが主体になると考えられる。派遣研修及びインターネット接続が可能な範囲でオンライン研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
取組状況	全体研修については、公務員倫理、人権、情報セキュリティ研修等の実施や、避難訓練等の防災研修などを実施した。 専門研修については、県立図書館の研修等へ職員を延べ44人派遣した。 また、レファレンス業務や資料保存等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得を奨励した。				
令和4年度					
計画	全体研修については、福岡市職員、図書館職員としての基本となる研修のほか、防災研修など年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、令和4年度以降も会場集合形式で開催されるものに加えて、インターネットを介したオンラインによるもの、または併用によるものなど様々な開催形式が考えられるため、有効に活用して積極的に参加し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
内部評価 (令和3年度)					
予定した研修や最近、問題化している情報セキュリティについての研修を実施することができた。 また、参加可能な範囲で専門研修への派遣を行った。					B
外部評価 (令和3年度)					
・日本図書館協会主催の研修、図主催の各種研修に職員を出張扱いで館員を参加させて貰いたい。 ・図書館員として高い専門性を持つことは不可欠である。 ・研修を積極的に受ける(研修へ派遣する)環境を整えてほしい。 ・人員確保のための予算の増加を望む。 ・計画どおりに実施できているためA評価。					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源	その他財源の確保			
令和3年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について、検討を行う。				
取組状況	駐車場の運営については、外壁工事終了の影響もあり、駐車台数が増加。目的外使用料の基本使用料約338万円の外、従量使用料約145万円の歳入があった。 喫茶厨房室や自販機等に係る目的外使用料は新型コロナウイルス感染症による休館の期間分が減額したものの、約87万円の歳入があった。 このほか、ふくおか応援寄附が約149万円寄せられた。				
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について検討する。				
内部評価 (令和3年度)					
駐車場運営では前年度と比べ約180万円増、寄付金は約100万円増となった。 しかし、新たな財源確保については、引き続き検討が必要なため、B評価とする。					B
外部評価 (令和3年度)					
・駐車場運営が順調なことは評価できる。 ・新たな取り組みが求められる。 ・ほぼ計画どおりに実施できているため。 ・財源確保のための検討が継続して必要と考える。					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和3年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討	実施			
	令和3年度				
計画	引き続き、ホームページやSNS、新聞等の媒体を通して、効率的で効果的な情報発信を行う。				
取組状況	<p>図書館の開館情報やイベント情報等をホームページやSNSを通して発信した。また、パブリシティによる情報発信にも努めた(報道機関への資料提供数5件に対し報道又は掲載件数33件)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSは前年度よりも投稿回数を伸ばし、ツイッター387回でインプレッション数は631,929、フェイスブック255回でインプレッション数は23,599となっている。 ・媒体ごとの登録者は、フェイスブック298件、ツイッター1,298件、メルマガ512件、LINE3,563件と増加した。 <p>また、「図書館の使い方」や「検索方法」、「図書館の音」の動画製作・配信を行った。企画した館内での統一テーマ展示・イベント(動物愛護センターも参加)では、感染拡大防止の観点から広報を控えたにも関わらず、メディアから取材(6件)もあった。</p>				
令和4年度					
計画	効率的で効果的な広報を目指し、ホームページおよびSNSの運用方法の見直しを含めた改善策を探りながら、情報発信を行う。				
内部評価 (令和3年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントなどが実施できなかったことから、報道機関などへの資料提供は減少したが、SNSによる展示インフォメーション(R2年度途中から開始)の発信や、話題性のあるテーマ展示での情報拡散など、新たな形での情報発信を行った。SNSでの登録者も増えてきていることからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和3年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力が着実に強くなっていることを評価する。それが利用者増につながるためには、さらなるPRや取り組みが必要と考える。 ・計画どおりに実施できているため。 ・以前、未返却の本についてテレビでインタビューされてあったが、今後も同様の情報発信を行うとよいと思う。 					<p>A : 4 B : 1 C : 0 D : 0</p>